オオタチヤナギ群落

分布	北海道（南西部）、本州（北陸地方、近畿地方以西）、四国、九州に分布。(1)
生態	高木で、小枝は緑色ないし灰緑褐色で、はじめ密にあるいはまばらに短毛をしくが、のち無毛となる。枝は分岐点がもろく、この部分は折れやすい。(2)
配慮事項	護岸樹として利用する場合は、繁茂のしすぎにより洪水時の流れを阻害しないよう適度な選定や間伐等の管理が必要となる。(3)

(1) 山渓ハンディ図鑑３ 樹に咲く花 離弁花、石井英美・崎尾均・吉山寛ほか、2000

(2) 日本の野生植物（大本Ⅱ）、佐竹義輔・原寛・亘理俊次・冨成忠夫、1989

(3) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

ムクノキ・エノキ群落

分布	本州（関東地方以南）、四国、九州の各地に分布。(1)
生態	落葉性の高木で、高さ 20m、直径 1m になる。よく成長した大木では高さ 30m、直径 4m に達する。若木の樹皮は灰褐色でほぼ平滑だが、老齢になるにつれて鱗片状に剥がれる。根の元は板根状になる。(1)
配慮事項	ムクノキ・エノキは陽当たりが良く、適度に湿った土地に生育するので、樹木を形成させるためには冠水頻度が少なく、比較的安定した広い河川敷が必要である。(1)

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

ヒメミソハギ

区分	宮崎県版レッドリスト：絶滅危惧ＩＢ類
分布	本州～沖縄県に分布。(1)
生態	水田や湿地に生える一年草。茎は直立し、毛はなくて、4 稜があり、枝を分け、高さ 10～30cm になる。花期は 9～11 月で、集散花序をなし腋生する。色は紅紫色。(1)

(1) 日本の野生植物(I)(II)(III)、佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫、1982

ミズマツバ

区分	環境省レッドリスト：絶滅危惧Ⅱ類
分布	本州～琉球に分布。(1)
生態	水田や湿地に生える小さな 1 年草。茎の基部はふつう地面をはい、分枝して、高さ約 3～10cm となる。(1)

(1) 日本の野生植物(I)(II)(III)、佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫、1982

ガガイモ

区分	宮崎県版レッドリスト：準絶滅危惧
分布	南千鳥から北海道～九州、朝鮮・中国にかけて分布。(1)
生態	原野にはえる多年草のつる草。横にはう地下茎があり、茎は細い軟毛があり、切ると白い乳液が出る。(1)

(1) 日本の野生植物(I)(II)(III)、佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫、1982

ミゾコウジュ

区分	環境省レッドリスト：準絶滅危惧 宮崎県版レッドリスト：準絶滅危惧
分布	本州～琉球、東アジア・マレーシア・インド・オーストラリアに広く分布する。(1)
生態	ロゼット葉のある越年草。湿った草地やあぜに生える。葉は長楕円形で根出葉は長い柄があり、花時には枯れる。茎の高さは 30～70cm。(1)

(1) 日本の野生植物(I)(II)(III)、佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫、1982

カワヂシャ

区分	環境省レッドリスト：準絶滅危惧
分布	本州(中部以西)、四国、九州、沖縄県に分布。(1)
生態	川岸、溝のふちや田に生える越年草。茎は直立または斜上して高さ 10～50cm、葉とともに無毛である。5～6 月、長さ 5～15cm の細い花序を出し、15～50 個の花をつける。(1)

(1) 日本の野生植物(I)(II)(III)、佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・冨成忠夫、1982